



教員 香川雄一先生

Q どんな環境問題の研究をしていますか？

主に明治から現在に至るまでの環境問題を、環境問題の歴史的な変遷を踏まえ地域環境・地域社会へ焦点を当て、持続可能な地域形成に向けた環境政策の課題や方向、また次世代へ向けた新しい環境創造のあり方などを多面的な角度から考えるという「地域環境政策論」の視点から研究を行っています。

具体的に、川崎の工場公害についての住民の対処方法や、和歌山にある製鉄所の建設から砂浜を守る反対運動などを地域の人々の生活や経済と環境の調和を大切に、調査をしています。

Q どんな環境問題の卒業研究を指導してきましたか？

メインは自然環境、地域環境の問題で具体的には観光、防災などの問題をテーマに選んできてもらっています。なかには、竜王町にアウトレットモールが立地したことによる影響をテーマに選んでいる学生もいて、身近な環境問題の解決を目指して研究を進めてもらっています。

卒業研究を進めてもらう中で必須にしているのは現地調査です。現地調査では地域の現状を調査するだけでなく、地域の住民による話をヒアリングすることも重要になっています。なので、学生の皆さんには人とのコミュニケーション能力を身につけることができるような指導を心がけてきました。

Q 学科への入学を検討されている方へ一言

環境政策・計画学科は環境問題を総合的に学べる学科です。文系でも理系でも対応できる幅広いテーマの選択肢から研究室を選ぶことができます。環境を支える地域や社会にも目配りしておくことをお勧めします。

Q もっと教授の事を知りたいコーナー

趣味は野球観戦をする事。応援球団は巨人でスタジアムまで足を運ぶこともあるそうです。他にももっと書きたいことがあるほど、この教授は魅力がいっぱい。今度はあなたがこの大学に入学してあなただけの香川教授の魅力を発見してください。